



コロナ禍の中、人間は右往左往していますが、境内の花々は夏を迎え、目福な情景を見せて来ています。その様な自然の営みの力強さに活力を頂いています。

ユーチューバー 良啓

先日、倉敷の先輩僧侶から連絡を頂きました。

先輩「朝勤行をネット配信するから、良かったら見てや!」私「?????!」

この方、高野山の本山布教師(法話のプロ)であり、土仏作家、ラジオのパーソナリティ等々、多方面に活躍しています。僧侶としての在り方に非常に厳しく、筋を通す事の大切さを教えて頂いています。反面、難しいと敬遠しがちな密教の教えを、倉敷弁を交えた口調で情緒豊かに説明する姿は、温かく優しさに満ちています。

内容は、呼吸法や読経を行い、法話を淡々とします。

「これだけあなたが幸せになる」と言う大風呂敷は広げず、続ける事の大切さ、日々の暮らしをどの様に過ごすのかについて、お話しされています。それは、私達僧侶が修行中に、師僧から受けた教えです。真言宗千二百年の歴史で、世の中は常に変わりました。しかし、修行のスタイル、教えは変わりません。ネット配信と言う現代的な布教師を実践していますが、その根底には平安時代から続く真言宗の息吹があります。

ぜひ明朝、貴方の三十分間を仏様の言葉に耳を傾けてみては如何でしょうか。

番組名: 朝勤WEB 時間: 7時 出演: 天野高雄



「あいさつ」

新垣 ひな子

令和二年二月十六日から神宮寺の寺務員として働かせていただいている新垣ひな子と申します。

恥ずかしながら、神宮寺があることを知ったのは去年の十二月。ツイッターで全国各地で行われたイベント「カリー寺」を沖縄でも開催してないか探していたところ、神宮寺というお寺がカリー寺を開催するというツイートをみて、これは絶対に行きたい!と思い、場所を探すと、なんと!普天満宮のお隣にあつたので驚きました。毎年初詣は普天満宮へ行っていて、お隣は宮司のお家なのだろうと思っていたからです。お寺での初イベント参加、初対面の参加者と寺務員と一緒にカリー作りや瞑想、お坊さんのお話も聞くことができ、とても幸せな時間を過ごしました。

後日、神宮寺からお便りが届き、スタッフ募集と書かれた紙が: 即応募。またまた恥ずかしながら、私、癒しの空間であるお寺よりもお坊さんが大好きで、お坊さんの真剣な目や人を想う気持ち、何と言っても一番は笑顔と癒しの声がもう最高なのです!

今はお寺で働けることが嬉しくて、出勤時と退勤時にお大師さまとご本尊さまに手を合わせ、「今日も一日宜しくお願います!」と「今日も一日ありがとうございました!」を言うようにしています。業務も一つ一つ覚えることが多いですが、寺務員として頑張りますので、よろしくお願致します。

コロナウイルスの影響で外出を控えている方も多いと思いますが、一日でも早く終息し、平穏な日々に戻れるよう願っております。これから暑い暑い夏が来ますので、どうか熱中症にはお気をつけ下さい。

